

雪がた

—— 豊科病院だより ——

豊科病院広報誌

令和 3年 3月10日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会

〒399-8205

長野県安曇野市豊科5777-1

Tel : 0263-72-8400

URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

普及が進むスマートフォン以下、スマホ。当院精神科デイケアに通所されている方々の間でも、以前に比べ、大勢の方が使用されています。

しかし、多くの通所者さんから、買っただけのもの、使い方がよくわからない。変な使い方をしてしまったらどうしよう。という声が聞かれます。

そこで精神科デイケアでは、

①スマホの便利な機能を使いこなしていただく。②安全に使用していただく。を目的に、職員によるスマホ講座を令和2年12月から始めました。この講座は月に2回、開催していきます。

講座の内容は、基本的な操作方法にはじまり、地図アプリの操作方法、無料通信アプリ

デイケアでスマホ講座始まる
便利なスマホを安全に使いこなそう！

LINEの活用に至るまで内容は多岐にわたります。

特に多くの方が利用しているLINEの使い方には、参加された通所者の皆さんの関心が集まり、真剣な表情で耳を傾け、多くの質問が寄せられました。

通話機能付きの小さなパソコンとも言われるスマホ。便利な機能が多い反面、悪質なサイトにつな



がったり、ウイルスに感染したりと、トラブルの危険性もあります。

スマホを楽しく安全に使っていただくために、今後も精神科デイケアでは、定期的にスマホ講座を開催する予定です。

令和3年新年式

1月4日に、豊科病院と安曇野メディア合同の新年式が開催されました。新型コロナウイルスの感染防止のため、各部署の代表者のみが出席し、時間も短時間という式典となりました。

関総長理事長は、「昨年中国で新型コロナウイルスが発生し、あつという間に世界へ広がった。ウイルス性のは、通常高温多湿に弱い、新型コロナウイルスはそのような時期に収束することなく、今は感染の第三波が押し寄せて来ている。県内の他の医療機関でも院内でクラスターが発生し、その機関の職員は疲弊している。当法人の医療機関は、新型コロナウイルスの患者さんを直接受け入れる体制には無く、今のところ感染者は一人も発生していないが、医療、保健、福祉を運営する我々



訓示する五味渕病院長

は細心の注意が必要となる。ワクチンもどこまで有効か不明であるため、職員自身が感染しないよう工夫し、留意し、職務へ専念して欲しい。」と、医師の立場としても職員に訓示しました。

五味渕病院長は 当院は高齢者の入院患者さんが多いが、コロナ禍であつても、精神科の入院治療の必要性のある方は受け入れていかなければならない。

『初志貫徹』初心忘るべからず『職員として仕事をしていく上で、これらの内省を伴った言葉を思い出すことが重要。』と、訓示しました。

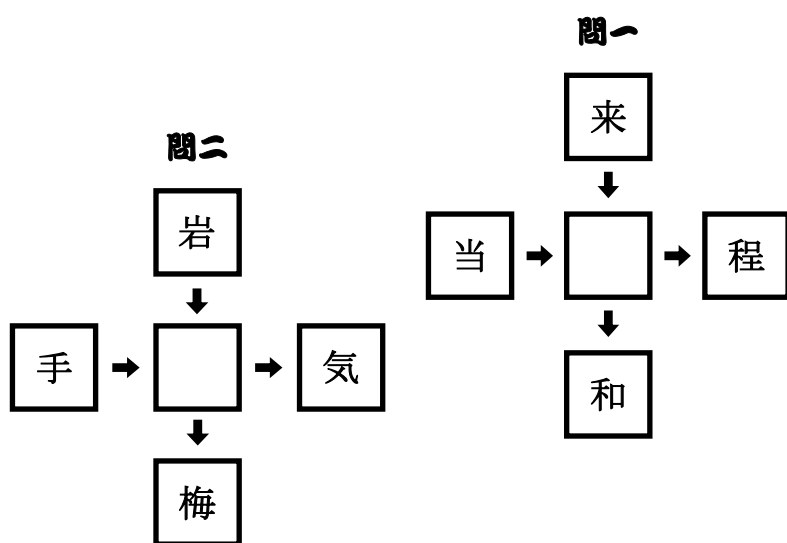
頭体操

第一回



新コーナー!!

今号より、頭の体操コーナーを始めました。
真ん中の□に当てはまる漢字を見つけ、4つの二字熟語を完成させてください。



※答えは最終ページ、編集後記の下にあります。

羽子板

節分
オンラインで新たな試み



新年が始まりましたが、新型コロナウイルス禍にあっては、例年に比べて入院患者さんの外出が難しくなっています。そこで、作業療法部では季節感を味わっていたからこそ、1月と2月にそれぞれの暦に合わせた行事を行いました。

年初には入院患者さんにお正月を感じていただくため、「羽子板づくり」を行いました。実際には、木の板は使用せず、それぞれ色とりどりの紙を用いて作製しました。出来上がった沢山の羽子板は、並べると色彩がとても華やかでした。

2月には、各病棟で「節分」の行事が催されました。患者さんは、鬼に扮した作業療法士や、鬼のめがけて、手作りの豆(新聞紙を丸めて作った玉)を投げてくださいました。また、鬼の

的は、当てた部位に応じて得点が設けられており、高得点を目指していただきました。

ここでも新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、患者さんが一度使用した玉は再度使用しないこととし、そして、患者さんが密にならないよう、会場を2つ設けました。2つの会場は、実

オンライン



際に玉を投げていている患者さんと、その様子を観覧する患者さんが半分に分かれ、2つの会場をオンラインで結び、両会場をお互いにスクリーンで見ることができるようになりました。鬼に扮した作業療法士や、オンラインという新しいスタイル

ルでの進行により、患者さんは表情よく楽しまれていたようです。季節を感じていただくことができたので、ないでしようか。



オンライン面会 活用を

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年中から入院患者さんの面会を、長期間制限させていただいております。入院患者様及びご家族の皆様には、大変ご不便をお掛けして来ましたが、今冬より「オンライン面会」のシステムを導入しております。

当院1階にオンライン面会室をご用意いたしましたので、基本は同室に設置したパソコンで面談をしていただけます。入院患者さんは、病棟内でタブレットをご使用いただき、お話をさせていただきます。



このオンライン面会をされる場合は、予約が必要です。予約は、電話にて病棟の看護師にお申し出ください。

オンライン面会の時間は、平日の午後2時30分～午後4時30分で、一組につき15分間です。

直接の面会がなかなかできず、もどかしい日々が続いて来ましたが、この機会に「オンライン面会」を是非ご活用いただきたいと思います。



外来 医師担当表

令和3年3月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
内科	いわさ たけひこ 岩浅 武彦 医師	休 診	休 診	いちかわ りょう 市川 棕 医師	休 診	休 診
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしぎと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつなり 五味洵 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつなり 五味洵 満徳 医師

◎ 受付時間 午前 7:00～正午

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで ※木曜日の精神科は、午前9:30～診療開始

※ 午後は全科**休診**となります。

※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認ください。
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400



～・編集後記・～

私のこの時期の楽しみといえば、毎朝空を飛ぶ白鳥を見ることです。雪を頂く北アルプスをバックに飛ぶ姿は何とも見事で、心から癒されます。

体長120cm、翼を広げると190cmにもなるという大型の渡り鳥は、今シーズンも遠くシベリアから飛来して来てくれました。日中はあちこちの田んぼに居る姿を見かけるので、思わず見とれてしまいます。稲の根をたくさん食べて体力をつけ、無事に北帰行し、また来シーズン元気に戻ってきて欲しいです。

さて、2月13日、当院の精神科デイケアの脇に、福寿草が咲き始めました。一步一步、春の訪れを感じさせてくれます。



野：二畝 日：一畝 冬鳥の1ヶ所

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。